

## 東京中央区で連携講座開講 本学教授4人がオムニバス形式で登壇

本学研究推進産学官連携機構と東京サテライトオフィスは11月7日から毎金曜日に開講していた、東京都中央区の「中央区民カレッジ・まなびのコース」での連携講座「科学技術の最前線」の最終回（第4回）を11月28日に開催しました（会場：築地社会教育会館）。

医歯薬学総合研究科（医学系）の阿部康二教授が「脳神経内科の最前線～アンチエイジングで認知症や脳卒中を予防する～」の演題で講義。日本では後期高齢者（75歳以上）については、介護負担は認知症が主であり、認知症患者の大半はアルツハイマー病によるもので、メタボリック症候群から動脈硬化を経て脳梗塞や認知症になりやすい、との説明がありました。さらに、魚の摂取や緑茶、赤ワインを飲むことなどが、アルツハイマー病のリスクを低下させることも述べられました。聴講者からは多くの質問が出され、岡山への関心も高まりました。



花岡 URA の挨拶



講師の阿部康二先生



説明する阿部先生



会場の様子